

令和6年度 国立中央青少年交流の家 教育事業

富士のさと 防災・減災教育キャンプ

開催要項



- 趣 旨** 防災・減災について自分事として捉え、自助・共助・公助に関して学ぶと共に、体験を通じて深く考える機会を提供する。また、被災時の生活を体験することにより、日頃の備えの大切さを確認すると共に被災時に何ができるかを考えて行動できることを目指す。
- 主 催** 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立中央青少年交流の家
- 期 日** 令和6年 10月 12日(土) ~ 13日(日) 【1泊2日】
- 協 力** 陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地、日本 DMC 株式会社
- 協 賛** 能美防災株式会社
- 対 象** 小学4~6年生 30名程度
(応募多数の場合は初参加の方を優先し、その他の方は抽選とさせていただきます。)
- 会 場** 国立中央青少年交流の家
- 参加費** 7,000円(食費・保険料・雑費等)
- 企画運営** 国立中央青少年交流の家職員、法人ボランティア(大学生等)
- 日 程**

	10:00	10:30	11:00	12:00	13:00		16:00	18:30	19:30	21:30
10月12日(土)	受付	開会式	アイス ブレイク	昼食	自衛隊講話 シチュエーションゲーム		防災 クッキング	入浴	停電時の 生活体験	就寝
	6:00	7:00	9:30	11:30	12:30	14:00				
10月13日(日)	起床 片付け	非常食体験	ドローンを使った 活動体験	昼食	感想発表 閉会式					

※開会式、感想発表・閉会式は保護者の方も参観できます。

11. 申込み

【申込期間】

令和6年9月6日(金)から

令和6年9月23日(月・祝) 17:15 まで

【方 法】

右記のQRコードからお申込みください。

※申込締切後、当所より参加の可否についてご連絡しますので、
下段記載の当所メールアドレスの受信設定をお願いいたします。



12. 持ち物

- 参加費 筆記用具 動きやすい服装 運動靴 帽子 着替え 上履き
- 防寒着【御殿場市の10月の平均気温は15.6℃(参考:気象庁)ですが、当所は更に3～4℃低いことに加え、当事業の特性上、十分な防寒対策を推奨いたします。】 タオル
- レインウェア 懐中電灯(ヘッドライトや手持ち型でも可) 手袋又は軍手
- 水筒【当所で水分補給用にウォータージャグを用意します。】
- 常用薬(参加者自身で服用できるもの)
- 日持ちのする甘いもの【災害時を想定し、ホッと一息つくためにどんなものが良いか、ご家庭でご相談の上お持ちください。1日目の夜に食べて過ごす予定です。】

13. その他

- (1) キャンプ中の食事は一部野外炊事や非常食の配給になります。**食物アレルギーの対応ができない可能性があるので、あらかじめご承知おきください。**
- (2) キャンプの詳細については、参加決定後(9月下旬)にご案内します。今回のキャンプでは防災体験の観点から水の使用を制限します。
- (3) ご記入いただいた個人情報、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物を、当機構の広報等に使用する目的で、報告書や刊行物、インターネット(ソーシャルメディアサービスを含む)等に掲載することがあります。また、新聞社、雑誌社等が発行する刊行物に記事・写真を掲載することもあります。なお、当機構がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人(又は保護者)から削除依頼を受けた場合は速やかに削除します。ただし、印刷物等については対応できかねますのでご了承ください。
- (4) 事業中に体調不良となった場合、お迎えに来ていただくこともありますので、ご理解とご協力をお願いします。
- (5) 天候等により、事業の中止又は活動内容等が変更となる場合もあります。
- (6) 当所では経済的に困難な状況にあるご家庭のお子さんを対象に、**教育事業への参加費を減免する仕組みを設けています。**詳しくはお問合せください。

14. 問い合わせ先(ご不明な点については、下記担当までご連絡ください。)

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立中央青少年交流の家

〒412-0006 静岡県御殿場市中畑 2092-5 TEL : 0550-89-2020 FAX : 0550-89-2025

E-mail : fujinosato@niye.go.jp 担当 : 八木・間瀬・川端

2015年の国連サミットで、全員同じ意見で決められた
2030年までの国際目標「これからつながる開発目標
(SDGs)」の達成をめざし、国立中央青少年交流の家は
進んで推進活動に取り組んでいきます。

